

令和4年12月20日

千葉県農林総合研究センター長

## I 向こう1か月間の予報

発生量及び発生時期は平年との比較で表す。予想発生量は「多」「やや多」「並」「やや少」「少」で表している。また、予報の根拠の（+）は多発要因、（-）は少発要因であることを示す。並〔発生なし〕は平年並で、今年発生がないことを示す。

なお、「並」とは平年値を中心にして40%の度数に入る幅、「やや多」「やや少」は「並」の外側20%の度数に入る幅、「多」「少」は上記3者の外側10%の度数に入る幅である。

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
冬 春 キ ュ ウ リ	うどんこ病	少	12月上旬発生量：少（-） 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> <li>窒素肥料の多追肥を避ける。</li> <li>発病初期から薬剤防除する。</li> </ul>
	褐斑病	やや多	12月上旬発生量：やや多（+） 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> <li>除去した被害葉等は施設外へ持ち出し、適切に処分する。</li> <li>発病初期から薬剤防除する。</li> </ul>
	べと病	並	12月上旬発生量：並 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> <li>下方の病葉は摘み取り、施設外へ持ち出し、適切に処分する。</li> <li>発病初期から薬剤防除する。</li> </ul>
	菌核病	並	12月上旬発生量：並〔発生なし〕 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> <li>発病果や発病葉は速やかに施設外へ持ち出し、適切に処分する。</li> <li>令和2年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」も参照。</li> </ul>
	コナジラミ類	並	12月上旬発生量 オンシツコナジラミ：並 タバココナジラミ： やや多（+） 12月黄色粘着トラップ誘殺数 ：やや少（-） 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> <li>タバココナジラミはキュウリ退緑黄化病、オンシツコナジラミはキュウリ黄化病のウイルスを媒介するため、コナジラミ類の防除は重要である。</li> <li>早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。</li> <li>同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。</li> <li>令和4年度病害虫発生予報第8号P4「これから注意を要する病害虫」も参照。</li> </ul>

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
冬 春 ト マ ト	うどんこ病	やや多	12月上旬発生量：やや多（＋） 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発病葉等は施設外へ持ち出し、適切に処分する。</li> <li>・ 発病初期から薬剤防除する。</li> </ul>
	灰色かび病	多	12月上旬発生量 果実発病度：多（＋） 発病株率：多（＋） 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設内の換気を良くし、湿度をできるだけ下げる。</li> <li>・ 発病果や発病茎葉は施設外へ持ち出し、適切に処分する。</li> <li>・ <u>令和3年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」</u>も参照。</li> </ul>
	オンシツコナジラミ	並	12月上旬発生量：並〔発生なし〕 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黄色粘着トラップの設置等で発生を的確に把握し、発生初期から薬剤防除する。</li> <li>・ タバココナジラミは、黄化葉巻病を媒介する。黄化葉巻病発病株は抜き取り、適切に処分する。</li> <li>・ 施設内外の除草や防虫網の設置など耕種的・物理的防除に努める。</li> <li>・ <u>令和4年度病害虫発生予報第8号P4「これから注意を要する病害虫」</u>も参照。</li> </ul>
	タバココナジラミ	やや多	12月上旬発生量：やや多（＋） 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病原菌は葉先の水孔や傷口から侵入しやすいので、既発ほ場では風雨後の薬剤防除に努める。</li> </ul>
キ ャ ベ ツ	黒腐病	並	12月上旬発生量 冬キャベツ：並 春キャベツ：並〔発生なし〕 気象予報：気温低か並（－） 降水量並	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病原菌は葉先の水孔や傷口から侵入しやすいので、既発ほ場では風雨後の薬剤防除に努める。</li> </ul>
	菌核病	並	12月上旬発生量 冬キャベツ：並〔発生なし〕 春キャベツ：並〔発生なし〕 気象予報：気温低か並（－） 降水量並	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発病株は速やかに抜き取ってほ場外へ持ち出し、適切に処分する。</li> <li>・ 薬剤防除は、株元まで薬剤が到達するように、ていねいに行う。</li> <li>・ <u>令和2年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」</u>も参照。</li> </ul>

作物名	病虫害名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
秋冬ネギ	さび病	並	12月上旬発生量：並 [発生なし] 気象予報：気温低か並（－） 降水量並	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬剤防除する場合は、収穫前使用日数に注意する。</li> </ul>
	べと病	並	12月上旬発生量：並 [発生なし] 気象予報：気温低か並（－） 降水量並	
	ネギアザミウマ	やや少	12月上旬発生量 被害度：並 寄生株率：やや少（－） 気象予報：気温低か並（－） 降水量並	
冬レタス	菌核病	並	12月上旬発生量：並 [発生なし] 気象予報：気温低か並（－） 降水量並	<ul style="list-style-type: none"> <li>発病株は速やかに抜き取りほ場外に持ち出し適切に処分する。</li> <li>トンネル内が過湿にならないようにする。</li> <li>菌核病は令和2年度病虫害発生予報第8号P5「これから注意を要する病虫害」も参照。</li> <li>灰色かび病は令和3年度病虫害発生予報第8号P5「これから注意を要する病虫害」も参照。</li> </ul>
	灰色かび病	並	12月上旬発生量：並 [発生なし] 気象予報：気温低か並（－） 降水量並	
イチゴ	うどんこ病	並	12月上旬発生量：並 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> <li>葉かき作業を適宜行い、切除部位を適切に処分する。</li> <li>発病初期から薬剤防除する。</li> <li>早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。</li> <li>同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。</li> <li>葉かき作業を適宜行い、切除部位を適切に処分する。</li> <li>早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。</li> <li>同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。</li> <li>令和2年度病虫害発生予報第6号P4「これから注意を要する病虫害」も参照。</li> </ul>
	アブラムシ類	並	12月上旬発生量：並 気象予報：日照時間並	
	ハダニ類	少	12月上旬発生量：少（－） 気象予報：日照時間並	

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
温州ミカン	ミカンハダニ	やや少	11月下旬発生量：やや少（－） 気象予報：気温低か並（－） 降水量並	・ マシン油乳剤による越冬期防除を行う。ただし、樹勢の弱い樹では散布を避ける。
カーネーション	アザミウマ類	やや少	11月下旬発生量：少（－） 11月黄色粘着トラップ誘殺数： 並 気象予報：日照時間並	・ 施設内外の雑草や花がらは適切に処分し、ほ場周辺に放置しない。
	ハダニ類	やや少	11月下旬発生量：やや少（－） 気象予報：日照時間並	・ 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。
ストック	菌核病	並	11月下旬発生量 施設ストック：並 [発生なし] 露地ストック：並 [発生なし] 前作発生量（2月下旬） 施設ストック：並 [発生なし] 露地ストック：並 [発生なし] 気象予報：気温低か並（－） 日照時間並 降水量並	・ 発病株は速やかに抜き取りほ場外に持ち出し、適切に処分する。 ・ 施設栽培では過湿にならないよう注意する。 ・ <u>令和2年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」</u> も参照。
野菜・花き共通	コナガ	やや少	11月下旬発生量 施設ストック：並 [発生なし] 露地ストック：やや少（－） 12月上旬発生量 冬キャベツ：並 [発生なし] 春キャベツ：並 [発生なし] 11月フェロモントラップ誘殺数： やや少（－） 気象予報：気温低か並（－） 降水量並	・ 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。 ・ 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。

## 参考資料

### ○主要病害虫の発生状況

巡回調査結果（野菜：12月上旬、果樹・花き：11月下旬）

作物名 (調査地域)	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			今年値	平年値	前年値	
冬春キュウリ (山武)	うどんこ病	発病葉率 (%)	7.40	13.44	9.60	
	褐斑病	発病葉率 (%)	0.20	0.29	0.00	
	菌核病	果実発病度	0.00	0.75	0.00	
	灰色かび病	果実発病度	0.00	0.23	0.00	
	"	発病株率 (%)	0.80	0.46	0.00	
	べと病	発病葉率 (%)	3.40	6.80	1.00	
	ワタヘリクロノメイガ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	オンシツコナジラミ	成虫寄生株率 (%)	0.80	1.37	1.60	
	タバココナジラミ	成虫寄生株率 (%)	0.80	0.34	0.80	
	コナジラミ類	黄色粘着トラップ誘殺数	10.44	26.22	27.82	
	アザミウマ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.23	0.00	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.11	0.00	
	冬春トマト (長生、海匠)	うどんこ病	発病株率 (%)	3.60	1.20	4.80
灰色かび病		発病株率 (%)	0.80	0.04	0.00	
"		果実発病度	0.40	0.00	0.00	
葉かび病		発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
黄化葉巻病		発病株率 (%)	0.00	0.10	0.00	
アブラムシ類		成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.04	0.40	
オンシツコナジラミ		成虫寄生株率 (%)	0.00	0.04	0.00	
タバココナジラミ		成虫寄生株率 (%)	0.40	0.12	0.40	
ハモグリバエ類		幼虫寄生株率 (%)	0.40	0.76	0.00	
アザミウマ類		成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.04	0.00	
冬キャベツ (海匠)	菌核病	発病株率 (%)	0.00	0.80	2.40	
	黒腐病	発病度	2.00	1.63	3.60	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	1.12	0.00	
	コナガ	10株当たり寄生幼虫蛹数	0.00	0.22	0.00	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	タマナギンウワバ	10株当たり寄生幼虫数	0.08	0.05	0.00	
春キャベツ (海匠)	菌核病	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	黒腐病	発病度	0.00	0.09	0.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	4.00	1.76	1.00	
	コナガ	10株当たり寄生幼虫蛹数	0.00	0.08	0.00	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
秋冬ネギ (長生、山武)	黒斑病	発病度	1.56	4.34	2.50	
	さび病	発病度	0.00	0.39	0.00	
	べと病	発病株率 (%)	0.00	0.32	0.00	
	ネギアザミウマ	被害度	17.56	22.75	28.60	
	"	成幼虫寄生株率 (%)	21.78	37.56	19.60	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.44	0.56	1.20	
	ハスモンヨトウ	被害株率 (%)	0.00	0.16	0.80	
	シロイチモジヨトウ	被害株率 (%)	0.00	0.24	1.60	
	ネギコガ	被害株率 (%)	0.00	0.17	0.80	
	ネギハモグリバエ	被害度	5.67	1.22	6.30	
冬レタス (安房、君津)	灰色かび病	発病株率 (%)	0.00	0.16	0.00	
	菌核病	発病株率 (%)	0.00	0.32	0.00	
	モザイク病	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	斑点細菌病	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	ネキリムシ類	被害株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.24	0.00	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
イチゴ (山武、海匠、安房)	うどんこ病	発病株率 (%)	2.12	4.09	2.82	
	灰色かび病	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	3.29	4.22	2.59	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.81	0.47	
	ハダニ類	雌成虫寄生株率 (%)	4.94	18.08	10.59	

作物名 (調査地域)	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			本年値	平年値	前年値	
温州ミカン (安房)	ヤノネカイガラムシ	成幼虫寄生葉率 (%)	0.00	0.16	0.00	
	ミカンハダニ	雌成虫寄生葉率 (%)	0.00	7.94	0.00	
	クワゴマダラヒトリ	被害果率 (%)	0.00	0.00	0.00	
カーネーション (安房)	萎凋病	発病株率 (%)	0.00	0.64	0.00	
	立枯病	発病株率 (%)	0.00	0.56	0.00	
	アザミウマ類	被害株率 (%)	0.00	17.64	5.60	
	〃	黄色粘着トラップ誘殺数	2.22	4.44	1.45	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.16	0.00	
	〃	黄色粘着トラップ誘殺数	12.00	34.16	15.09	
	ハダニ類	雌成虫寄生株率 (%)	0.00	6.16	0.00	
	シロイチモジヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
ストック (安房)	ヨトウムシ類	被害株率 (%)	0.00	1.18	0.00	
	菌核病 (施設)	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	菌核病 (露地)	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	萎凋病 (施設)	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	萎凋病 (露地)	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	コナガ (施設)	被害株率 (%)	0.00	4.18	4.00	
	〃	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.90	0.00	
	コナガ (露地)	被害株率 (%)	0.00	12.12	7.20	
	〃	幼虫寄生株率 (%)	0.00	3.43	0.00	
	アブラムシ類 (施設)	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.16	0.00	
	アブラムシ類 (露地)	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	6.34	0.00	

トラップ月間誘殺数 (11月)

区分	調査害虫名	トラップ設置場所	誘殺数 (頭/日)			備考
			本年値	平年値	前年値	
性フェロモン	コナガ	海匠、安房	0.5	1.5	1.0	
	ハスモンヨトウ	県内全域	14.7	20.2	16.5	
	シロイチモジヨトウ	〃	0.5	0.3	1.5	
	オオタバコガ	〃	3.0	1.2	0.9	
	タバコガ	〃	0.1	0.2	0.0	

## ○気象予報

12月15日気象庁発表

関東甲信地方における向こう1か月間の確率(%)

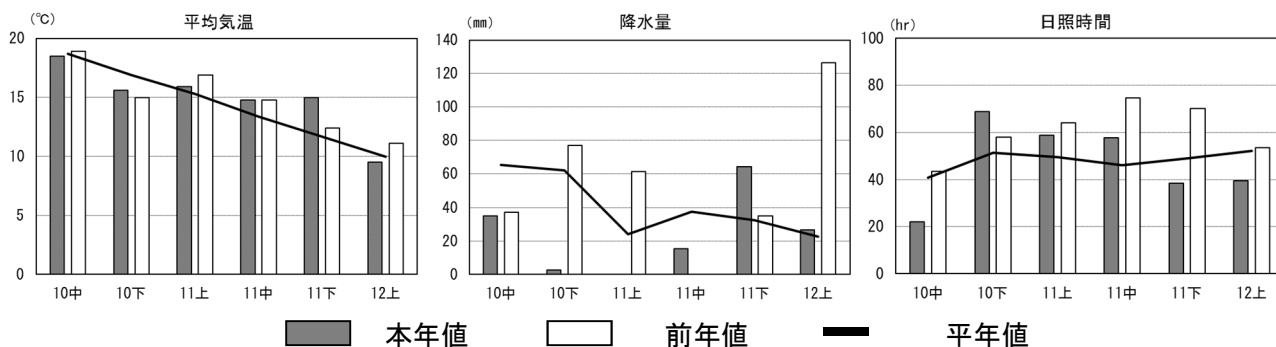
要素	低い・少ない	平年並	高い・多い
気温	40	40	20
降水量	40	30	30
日照時間	30	30	40

出典：気象庁ホームページ

向こう1か月間の各気象要素の平年値

(12月17日～1月16日)

要素	千葉	銚子	館山
気温(°C)	6.9	7.5	7.2
降水量(mm)	53.4	85.2	81.4
日照時間(hr)	188.8	177.4	175.2



## 農薬は適正に使用しましょう。無登録農薬の使用はできません。

- 農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍数、収穫前使用日数、総使用回数などが定められています。
- 登録番号のない薬剤は、農薬として使用できません。登録農薬には必ず登録番号が記載されています(記載例 農林水産省登録第〇〇〇号)。
- 農薬はラベルをよく読んで適正に使用しましょう。
- 飛散しないよう工夫して散布しましょう。
- 農薬を散布したら必ず記帳するようにしましょう。
- タンクやホースは洗いもれがないようきれいに洗っておきましょう。

- ・ 病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>
- ・ 次回の発行予定は1月18日です。なお、注意報等の臨時情報は逐次発行されます。
- ・ 薬剤の選定については、最新の農薬登録情報を確認してください。  
<https://pesticide.maff.go.jp/>



問合せ先

千葉県農林総合研究センター病害虫防除課

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180番地1

TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp